

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	日々の記録とカンファレンスの要点、計画達成度の評価の根拠が、介護計画と連動していない。一連の記録として見た時に意味が通らない	記録同士の繋がりを意識し、連動した記録になるように記録の内容を見直し、職員にも意識づける	書類の書式を見直しし、各部関連づいた記述を行えるようにする。	2ヶ月
2	1	理念が言葉の上だけの理解にとどまっており、本当の意味で理念として職員間に浸透していない。	理念について話し合う機会を設け、職員の意見を反映させた理念を策定する。また、理念を念頭に置いた個人目標を職員一人ひとりに策定してもらい、その支援を行う	まず、理念を現在の状況に即したものに変更を行い、その上で背景を理解して働けるように、職員間で共有を行う	3ヶ月
3	4	運営推進会議に家族と職員以外の方に参加して頂く事が少なく、会議の内容が画一的で、報告会のようなものになりがちである。	地域との連携を密にするためにも、自治会長や民生委員の運営推進会議への参加を促していく。また、参加しやすい工夫として花見やバーベキューなどのイベントとセットで行うようにする	家族への説明、協力を依頼する 季節ごとの企画を織り交ぜつつ、そのイベントも家族会議等で議題にあげて、実行する	6ヶ月
4	6	拘束、抑制についてのマニュアルが外部の物であり、拘束、抑制について知識としての理解しかない	当施設独自のマニュアルを作成し、職員全員で共有する。また、その際に施設内で拘束、抑制対策委員を設置し、その職員たちを中心に理解を含めて行く	マニュアルを職員全員で共有、検討を行う	3ヶ月
5	10	運営推進会議や家族との面談の機会は多く設けられているが、毎回報告のみに終始し、家族からの運営に対する意見を伺う事が出来ない	運営推進会議などで、家族から運営についての意見を引き出す機会を作る	発言しやすい環境を作り、議題等も課題を検討できるような内容で提示する。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して